

袋とじ『エマニエル夫人』シルビア・クリステルの無修整版も
青春のブロンド女優 初めて「ヘア」が見えた!
脊山麻理子 正真正銘「ナマ尻」出し! / 佐々木心音 無毛ヌード
完全解明 「園遊会」のすべて / 動き出した「元少年A」

秋の合併号

ぶち抜きカラー16ページ

沢田研二と鶴ひろみ
松坂慶子と岡田奈々ほか

有名人「変わった人」
「変わらない人」



3000億円も使って、大混乱確実!

アリ現代

マイナンバー制度は「第2の新国立」になる

神戸山口組
「防弾チョッキ」着用命令が出た / 田岡組長ゆかりの地に「新本部」

特別定価430円
9/26 10/3
Weekly Gendai
2015
September-October

両親・恩師らが明かした
ヤクルト
山田哲人の
「秘密」

名経営者

初告白

草刈正雄「23歳の息子を喪つて」

溝口敦氏が読み切る

大物吉本芸人が開帳 「超高額賭博」疑惑
何をいまさら
習近平「日本よ、助けてくれ」

申請すれば
「戻つてくるお金」
知らないうちに
制度が変わっていた!
役所はあえて教えないけど

秋の合併特大号 5大カラー祭り!
読んで得する大型企画

「おこさまは18歳」の岡崎友紀から、「軍師官兵衛」の桐谷美玲まで
TVドラマの女優「あの役」が最高!



読者体験談
「セックスの女神」に出会った
なかにし礼「再発がん」からの生還

元「日テレ」アナが、まさかの「ナマ尻出し!
スウェーデン「寝たきりゼロ」社会の暮らしあり

スペシャルカラー
秋の合併号

脊山麻理子

スクリーブ独占掲載10ページ

幸福度世界1位

「北欧の楽園」に学ぶ

スウェーデン 「寝たきりゼロ」社会の 暮らしと考え



子供と暮らさない

スウェーデンの高齢者ケアに詳しい東京経済大学の西下彰俊教授が語る。「日本では寝たきり状態にある高齢者が150万人から200万人ほどいると言われています。一方、スウェーデンはそもそも寝たきりになる人がほとんどいない。いたとしても、終末期ケアが行われる数日から数週間の短期間だけです」

この驚くべき違いは、

ありません。
もちろん、ベッドにしばりつけるようなこともありません。私たちが行うのは介護であって拷問ではないのですから。アルコールを飲みたいという人には、よほど健康上の理由がない限り、飲ませます。最後まで人生を楽しめるように助けるのが、私たちの仕事なんですね」(ヨハンソンさん)

高福祉国家として知ら

れるスウェーデンは、OECD(経済協力開発機構)が行う国別幸福度ランキングでも上位の常連だ(13年度はオーストリアと並んで1位。日本人の平均寿命は81・7歳。日本人の83・1歳に比べれば短いが、それなりの長寿国である。にもかかわらず、この国には寝たきりになる老人がほとんどいない」という。

最後まで人生を楽しむ

介護状態にある。

しかし、車椅子に乗っている人でもきれいな服に着替え、パジャマでうろうろしているような高齢者はいない。日本の後期高齢者が集う施設に比べるとずっと穏やかで、明るい雰囲気だ。

「ここでは、何より本人の意思が一番に尊重されます。散歩に出るのでも普通は誰かが付き添いますが、どうしても一人で散歩したいという人がいれば、家族の同意のもと、GPS付きの携帯を持たせて出かけるのを許可します。それで本人が事故に遭ったとしてもあくまで自己責任なので、施設の責任が問われることは

どこからくるのか?スウェーデンの人が特に健康的な生活を送っているというわけではない。例えば食生活。厳しい冬が長く、食材も貧乏したため、北欧の食事は日本のそれほど豊かなものではない。東京にある北欧料理レストラン「ALBERT GOTTL」のオーナーシェフ矢口岳氏が語る。「スウェーデン料理にはアンチョビに代表される

	スウェーデン	日本
人口	959万人	1億2730万人
一人当たり 名目GDP	5万8491ドル	3万6331ドル
消費税率	25%	8%
国民負担率※1	58.9%	43.4%
平均寿命	81.7歳	83.1歳
高齢化率※2	19.7%	25.1%
子供と 暮らしている 高齢者の率※3	4%	44.1%
出生率(2014)	1.91%	1.42%
専業主婦率	2%	38%

*1 所得に対する税金と社会保障料の割合

※2 65歳以上の人口が全体に占める割

※2 65歳以上の人口が全体に占める割合
※3 ウエーデンは67歳以上、日本は65歳以

つても、できるだけ長く
生きてほしいという考え
が支配的だからだ。しか
し、そのような日本の現
状を聞いた冒頭のヨハン
ソンさんはこう語る。

「スウェーデンでも'80年
代までは無理な延命治療
が行われていましたが、
徐々に死に方に対する國
民の意識が変わってきた
のです。長期間の延命治

北海道中央労災病院長の宮本顯一氏は、「スウェーデンの終末医療が日本と根本的に違うのは、たとえ施設に入つても原則的に同じ施設で亡くなるという点にある」と語る。

国を一つの「家族」と考える

う考え方からくるものだ。そしてもう1つは財源の問題だ。スウェーデンでは、介護の財源はすべて税金でまかなわれている。老人になれば誰でも少ない自己負担（上限が月1780クローナ＝約2万5600円）で、介護サービスを受ける資格がある。

ただし、いくら税率の高い高負担国家でも、老人の面倒をすべて税金で見るのは限界がある。施

りも、在宅で何度も介護士を派遣するほうが結局はコスト的に安く上がるため、在宅介護が推奨されるのだ。

だが、そのことが結果として寝たきり老人の発生を防いでいる。寝たきりになつてしまえば在宅介護は不可能になるからだ。従つて、介護士たちはできるだけ高齢者が自立した生活を送り、自分の口で食事をできるよう

にサポートする。国際医

—, *Journal of the Royal Society of Medicine*, 1980, 73, 101-102.

スウェーデン 「寝たきりゼロ」社会 暮らしこそ考え

塩蔵　スマートケサーモン
といった燻製、ニシンの
マリネのような酢漬けな
ど塩分濃度が高いものが
多い。日照時間が短く野
菜もあまり採れないのに、
荒れ地でも育ちやすいデ
イルのようなハーブ類を
多用します。またアルコ
ール消費量も多く、日本
人と比べて健康的な食生
活を送っているとはとて
もいえません」

どうやら、食事・健康
面に原因があるわけでは
なさそうだ。寝つきりゼ
ロの秘密は、むしろ介護
と医療システムそれ自体
にある。

基本的な前提としてス

ウェーレンの高齢者は子供などの親族と暮らすことをしない。夫婦二人か、一人暮らしの世帯がほとんどで、子供と暮らしている人は全体の4%に過ぎない（日本は44%）。これは「自立した強い個人」が尊ばれる伝

一覧表「はんしょ」

独立して生活している高齢者が体調を崩し、誰かの世話が必要になつた場合でも、家族が全面的に介護することはありえない。「コミュニーン」と呼ばれる市町村にあたる自治体が高齢者の希望に

沿う形で、サービスを提供することになつてい
る。そして介護は在宅サ
ービスが基本だ。

せられる。本当の人生の終末期にしか施設に入る事が許さない「順序モデル」が基本なのです。（前出の西下氏）

スウェーデンがここまで在宅介護と順序モデルにこだわるのには、2つの理由がある。1つは先ほども述べた「自立した個人」を尊ぶ文化。できだけ最後まで自分の家で自分の力で暮らした

統に根差したもので、高齢者に限らず、若者も義務教育を終えた16歳から親の家を出て一人暮らしを始めるのが普通だ。だからといって家族関係が希薄というわけではなく、近くに住んで頻繁に交流する家族は多い。

い。これは、当該の高齢者や家族が自由に選べる「選択モデル」です。

いるような認知症の高齢者でも、在宅介護が行われる。症状や要介護状態に応じて、一日に5度も6度も介護士がやつてきていろいろと面倒を見るというケースが一般的だ。

国際経済学の
第一人者による

竹森俊平

定価：本体1,200円（税別） ISBN 978-4-06-272908-6

国際経済学の 第一人者による緊急出版! 「崩壊止まらず!!」

欧洲統合、 ギリシャに死す

講談社

いの滞在時間でトイレを掃除し、ベッドメイクを済ませ、高齢者と会話をして帰るというようなりをくり返す。日本では介護とすると、どうしても医療からの発想になりがちで、手助けよりも治療という対処に傾きやすい。スウェーデン福祉研究家の藤原瑞美氏は語る。

「日本の場合は病院経営をする医師などが主導権を持つているケースが多く、すぐ投薬・治療という方向になる。しかし、護士たちが大きな権限を与えていて、認知症の場合には薬を使うよりも、本人がどんな助けが必要としているか汲みとることが重視されています。例えば私が調査した3万人ほどの自治体では、そのうち400人が介護福祉士でした。介護は重要な雇用創出の機会にもなっているのです」

日本では介護士というと薄給なわりにきつい仕事というイメージだが、スウェーデンでは安定した公務員で、経済的に困窮するようなこともない。藤原氏によると、スウェーデンでは認知症の人うち約半数が独居しているという。しかしそれで大きな問題が起きたこともない。日本では'07年に認知症患者が徘徊して起きた鉄道事故で、監督責任を問われた遺族が

「この国では、介護の負担はすべて国や自治体がします。『国は一つの大族が介護のために経済的負担を強いられるということもありません。」

また、施設を訪れた家（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

族が、食事や入浴の手伝いをすることもまずありません。家族は一緒に楽しい時間を過ごしてもらえばそれでいいのです」

（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

消費税25%、相続税0%、死んだら匿名で共同墓地へ 幸せなスウェーデン人満たされない日本人

高負担でも納得している

スウェーデンの職員がおり、3万人ほどの自治体では、そのうち400人が介護

福祉士でした。介護は重要な雇用創出の機会にもなっているのです」

日本では介護士というと薄給なわりにきつい仕事というイメージだが、スウェーデンでは安定した公務員で、経済的に困窮するようなこともない。藤原氏によると、スウェーデンでは認知症の人うち約半数が独居しているという。しかしそれで大きな問題が起きたこともない。日本では'07年に認知症患者が徘徊して起きた鉄道事故で、監督責任を問われた遺族が

「この国では、介護の負担はすべて国や自治体がします。『国は一つの大族が介護のために経済的負担を強いられるということもありません。」

また、施設を訪れた家（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

族が、食事や入浴の手伝いをすることもまずありません。家族は一緒に楽しい時間を過ごしてもらえばそれでいいのです」

（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

スウェーデンの幸福度が高いのには明確な理由がある。いうまでもなく世界トップレベルの福祉制度の充実だ。

教育費は大学まで含め

てすべて無料。医療は18歳以下は無料、成人も自己負担が年間で最大900クローナの診察料（約1万3000円）、1800クローナの薬代（2万

5900円）と安く抑えられている。前述のように安心して介護を受けられる体制も整っている。

当然ながら、このよう

な充実した福祉サービスを支えるためには、しっかりととした財源が必要となります。

他に主たる財源になつてているのは、地方所得税と呼ばれる日本の住民税にあたる税だ。日本総合研究所副理事長の湯元健治氏が解説する。

「スウェーデンは地方分権が確立されており、ランステイング（日本いう都道府県）とコミュニティ（市町村）で成り立っています。税率は自治体

皆一緒に森へ還る

スウェーデンの政治の面白い点は、ランステイングやコミューンの議会

中には執行委員会のメンバーの一部に専業の議員の大部分が、政治家とは別に本業を持つ兼業議員であるという点だ。

「彼らは議員職を通じて、歳費をもらっているわけではなく、会議に出席した時間に応じて時間給をもらっています。本

によって違いますが、ランステイング税が約10%、コミューン税が20%程度が平均です。他に国に払う税金もありますが、高収入の人しか課税されないので実際に国への所得税を払っているのは、国民の15%程度です」

一方で相続税は'04年に廃止された。これはもともと相続税が税収全体に占める割合が極めて低く（贈与税と合わせて全体の0・2%）、富裕層が税金対策のために海外に逃げ去つてしまつては逆に税収全体が落ち込む懸念があるという合理的な考え方から廃止された。相続税が廃止された時も、「金持ち優遇策だ」という批評が足りないと見れば、受益者は見があれば、今の税率を何%上げないと、そのサービスが足りないと、そのサービスは行えませんがどうしますか、という議論になります。住民の理解を得られれば税率を上げてサービスを充実させる。逆に税率が高すぎるということになれば、どのサービスを廃止しますかといふ議論になる。受益者は自分たち自身であり、その見返りとして当然、負担が生じるということを住民はよく理解し、納得しているのです」（湯元氏）

ひるがえって日本の場合は、医療保険制度があるので、保険料を徴収し、

それでも足りない部分を税金で補つており、カネの流れが複雑だ。財務省は社会保障を充実させるために消費税を引き上げると説明しているが、具体的にどんなサービスが拡充されているのか、よくわからない。

だから増税の議論になると、国民党は反対せざるを得ない。払った税金が汚職で消えたり、利権まみれの政治家や官僚のポケットに入っているかも知れないが、わけのわからぬから知らない。

遺骨は完全に灰になると、国民党は反対せざるを得ない。払った税金が汚職で消えたり、利権まみれの政治家や官僚のポケットに入っているかも知れないが、わけのわからぬから知らない。

世界遺産にもなっている「森の墓地」



スウェーデンでは、高齢者と会話をして帰るというようなりをくり返す。日本では介護とすると、どうしても医療からの発想になりがちで、手助けよりも治療という対処に傾きやすいため、手助けよりも治療という対処に傾きやすい。スウェーデンでは認知症の人うち約半数が独居しているという。しかしそれで大きな問題が起きたこともない。日本では'07年に認知症患者が徘徊して起きた鉄道事故で、監督責任を問われた遺族が

「この国では、介護の負担はすべて国や自治体がします。『国は一つの大族が介護のために経済的負担を強いられるということもありません。』

また、施設を訪れた家（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

族が、食事や入浴の手伝いをすることもまずありません。家族は一緒に楽しい時間を過ごしてもらえばそれでいいのです」

（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

スウェーデンでは、高齢者と会話をして帰るというようなりをくり返す。日本では介護とすると、どうしても医療からの発想になりがちで、手助けよりも治療という対処に傾きやすい。スウェーデンでは認知症の人うち約半数が独居しているという。しかしそれで大きな問題が起きたこともない。日本では'07年に認知症患者が徘徊して起きた鉄道事故で、監督責任を問われた遺族が

「この国では、介護の負担はすべて国や自治体が

します。『国は一つの大族が介護のために経済的負担を強いられるということもありません。』

また、施設を訪れた家（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介護による共倒れなどがあります。深刻化している日本の現状から見る「幸福国家」を支える社会システムに迫ろう。

（前出のヨハンソンさん）老後破産や孤独死、老介